



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2018/11/30にご同意いただいた方

【研究課題名】

神経変性疾患における分子病態の解明による治療法の開発と髄液および血液を用いたバイオマーカーによる診断法の開発

【研究責任者】

岡澤 均（東京医科歯科大学 難治疾患研究所 分子神経科学）

【本研究の目的及び意義】

神経変性疾患の病態は完全に解明されておらず、超早期（プレクリニカル）にどのような病態シグナルが誘導されるかは明らかではない。本研究の目的は患者検体とモデル系を用いて分子病態を解明し、治療法と診断法を開発することである。そのためにパーキンソン病など神経変性疾患の脳脊髄液を用いてタンパク質網羅的解析を行う。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank@ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）